

原発の再稼働と、原子力防災計画の広域避難等に関する質問・要望項目

関西広域連合 御中
兵庫県知事 井戸敏三様

福井県の西川知事は6月25日の福井県議会で、広域避難について、原発30キロ圏外の県と協議を進め兵庫など3県に住民避難を受け入れてもらうことで合意しているとし、「兵庫、奈良、石川県と協議を進めており、今議会中に具体的な市町を確定したい」と述べています。小浜市やおおい町等の避難先として兵庫県があげられています。

(福井新聞 6月26日 <http://www.fukuishimbun.co.jp/localnews/politics/43548.html>)

しかし、他方、防災計画が未整備のまま、7月には新規制基準が施行され、現在稼働中の大飯原発だけでなく、高浜原発も再稼働の申請が早々になされると報道されています。高浜原発には6月27日MOX燃料が到着し、危険なプルサーマルも狙われています。

改めて防災計画の重要性とそれなしの原発の運転に危機を抱いております。大飯原発は免震事務棟や防潮堤のかさ上げが完成していないなど、規制庁自らが新規制基準に適合していないことを認めながら、9月までの運転を認めようとしています。6月21日に規制庁と交渉を行いました。その内容についてもお伝えします。

また、兵庫県は独自のシミュレーション結果を公表し、それによれば事故時は兵庫県にまで大量の放射性よう素が飛散することが予想され、よう素剤の配布も検討されています。

そこで、以下の質問と要望に答えてください。

1. 福井県との協議はどうなっていますか。兵庫県の受け入れ体制は？

6月29日の神戸新聞によれば、福井県はおおい町、小浜市、若狭町、高浜町の避難先として「兵庫県の15市7町を選定し、各自治体と協議している」「(福井県は)7月にも県防災会議を開いて県原子力防災計画を改定。原発から30キロ圏の住民の広域避難について盛り込む方針。」とされ、22市町の名前も掲載されています。これについてどのような検討になっていますか。

2. 事故時には同時に京都府(舞鶴市)などからの避難も予想されますが、その調整は行われていますか。京都府の避難受け入れの検討は進んでいるのですか。

3. 兵庫県のシミュレーションについて。避難者の受け入れ先とされる自治体の多くは、風向きによっては、そこからの避難が必要な地域ではありませんか。また、ヨウ素剤の配布などはどうなっていますか。

4. びわ湖の汚染が心配されていますが、水の確保について検討は進んでいますか。

5. 大飯原発は新基準を満たしていません。運転を停止すべきと表明してください。

防災計画もできていな状況では、高浜3・4号の再稼働、プルサーマルは認められないと表明してください。

2013年7月2日

原発にたよらない滋賀の会（滋賀）／ 原発なしで暮らしたい丹波の会（京都北部）
／ グリーン・アクション（京都市）／ 七番めの星（京田辺市）／ おおい原発仮処分尼崎原告の会／
美浜の会（大阪）／ 脱原発わかやま（和歌山）

連絡先団体

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581